

受検者に対する注意事項

<集合場所は2号館4階です。上履きは必要ありません。>

[検査前]

- (1) 検査場となる高等学校には受検者への注意事項が掲示してあるので、事前に見ておくこと。
- (2) 遅刻すると受検できないことがあるので早めに登校すること。
- (3) 英語の聞き取りテスト実施中は、原則として遅刻者は入室できないので注意すること。
- (4) 検査場には必ず受検票を持参すること。
- (5) 検査場には、鉛筆（シャープペンシルも可、色鉛筆は不可）、消しゴム、鉛筆けずり、三角定規一組（分度器などのついているもの、及び直定規は不可）、コンパスを持参すること。
なお、本校では下敷きの使用は認めない。商標以外の文字のある鉛筆や計算機つき時計、辞書機能をもつ機器等、検査の公平をそこなうおそれのある品物や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末などの通信機器等の持参は認めない。
- (6) 検査時間は、各教科とも50分（英語は聞き取りテスト10分を含む）である。特別な場合を除いては、時間終了まで退室できないので注意すること。
- (7) 検査が始まる前に、あらかじめトイレをすませておくこと。検査中、必要のあるときは、手をあげて申し出ること。
- (8) 毎時間、指定された席に着き、机の上の番号札のところに自分の受検票をおくこと。
- (9) 問題冊子の表紙に記されている注意事項をよく読み、その指示内容に従うこと。

[検査中]

- (1) 答案は、「始め」の合図で書き始め、それまでは手をつけないこと。
- (2) 答案を書く前に、必ず問題冊子及び解答用紙に受検番号を書くこと。氏名や中学校名など示されていないことを書いてはならない。
- (3) 答案を書くときは、問題を注意して読み、示されたとおりに書くこと。指定されていないところに書いてはならない。
- (4) 問題については、いっさい質問してはならない。ただし、印刷のはっきりしないところがあったら手をあげて申し出ること。
- (5) 検査中、話し合い、わき見、音をたてること、声を出して読むことなどをしてならない。
また、用具の貸し借りをしてはならない。
- (6) 検査中、からだの具合が悪くなったときは、手をあげて申し出ること。
- (7) 時間がきたら、放送の「やめ」の合図で鉛筆をおくこと。

[検査後]

時間がきて退出するときは、解答用紙を室外に持ち出してはならない。

<鳴滝高校での注意事項>

- (1) 文字のついたハンカチやティッシュペーパーカバーは、検査中に取り出すことはできません。
- (2) 検査場の椅子の脚には消音のため、テニスボールをかぶせています。
- (3) 2日目の午後は、面接開始までの待ち時間があるので、本など読み物を持参してもかまいません。